

## 神道入門

「あまりいいことがないので、ちよつとお祓いを」と言われて家を訪ね、神棚を開けてみると、お神札がぼろぼろになっていた、ということがある。神棚は一家の中心となる場所なので、常に明るく清らかにしておくように心掛けなければ、神のご加護はいただけない。

正月を迎えるにあたり、神棚をきれいに掃除して新しい神宮大麻という伊勢神宮のお神札と、地域の氏神社のお神札をお祭りし、一年間守っていただいた古いお神札は感謝の気持ちを込めて氏神社に納める。すると神は、すこやかであるようにとお守り下さるのである。当神社で、地鎮祭が行われた。いよいよ新授与所の建設工事が始められる。この授与所はお神札などを参拝者にお渡ししたり、祈願の受付から応接まで多岐にわたり使用できるほか、重要祭典などの前には参籠さんろうといつて神職が泊まり込み、身も心も整えて祭典を奉仕する準備も可能となる。

しかし、いくら立派な建物が今後造られても、神道そのものについて理解されてなければ、それはただの箱物にすぎないだろう。神道とは、われわれ日本人にとっていつたい何なのか。そこで神道入門の本を元旦に出版させていただく。もつと知っていただきたいと思う。

『足を知る者は富む』  
いかにも「老子」らしい至言であるが、神道と相通じるものがある。

初詣は氏神さまへ  
歳旦祭 元旦午前0時。先着百名昇殿参拝、破魔矢授与。  
祈願受付 一日午前九時半～午後四時迄。四日以降要予約